

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3 月 29 日
研究・研修課題名	令和2年度臨床心理士資格審査
研究・研修組織名(所属)	精神科神経科
研究・研修責任者名(所属)	稲垣 正俊(精神科神経科)
研究・研修実施者名(所属)	大拙 孝治(精神科神経科)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	井上 歩美(精神科神経科)
学会名(会期・場所)、認定名等	令和2年度臨床心理士資格審査
演題名・認証交付元等	公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会
取得日・認定期間等	2021/4/1・2021/4/1～2026/3/31
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**① 目的**

臨床心理士資格は数ある心理資格の中の一つであるが、指定大学院を修了することが受験資格の条件になっているなど、専門的知識や技術に関する確立された教育を受けていることが受験の前提となっている、非常に信頼度の高い心理資格である。また、臨床心理士資格は資格取得後も5年ごとの更新が義務付けられており、常に研鑽を積むことが求められている。そのような信頼度の高い資格を取得することは「心理専門職」である証の一つとなりうる。この資格を取得することで、臨床技術、知識、業務などにおいてさらなる向上を目指し、利用者の方々にも安心して医療を受けていただくことを目指すものである。

② 方法

令和2年度臨床心理士資格審査受験(試験概要は参考資料のとおり)

受験人数:1人

③ 成果

現在の社会において、心理的問題を抱える方が増加しており、心理学的理論や技術を正しく身に着けた心理専門職の援助が求められている。臨床心理士は、臨床心理学に基づく知識や技術を用いて人間の心の問題にアプローチする専門家であり、臨床心理士資格を有していることはその技術を保証するものとなる。

このたび、当科所属の該当者である井上歩美氏が2020年度病院医学教育研究助成により、令和2年度臨床心理士資格審査を受験し、無事合格し、臨床心理士の資格を取得した。

このことにより、本人の臨床技術・知識・業務の向上が見込まれると共に、医療者、利用者、両者に対して、心理的知識や技術を有している者として安心と信頼を得ることができるものと考えられる。それにより具体的にこころの問題にアプローチしていくことが可能になり、より良い医療の提供が可能になると考える。